

2022年3月15日

JATA・TQJ インバウンド WEB セミナー
主催者挨拶

(一社) 日本旅行業協会
副会長 小谷野 悦光

皆様、本日は多数、「JATA・ツアーオペレーター品質認証会社(TQJ) インバウンド WEB セミナー」にご参加いただき、誠にありがとうございます。

(一社) 日本旅行業協会副会長で、訪日旅行推進委員会委員長の小谷野でございます。主催者を代表して、一言ご挨拶させていただきます。

昨年2月からの新型コロナ感染拡大の影響で、丸2年間国際交流が途絶え JATA・TQJ 会員会社におかれましては、大変厳しい状況で今が正念場かと認識しております。

JATA としてはそのような状況下において少しでも社員、スタッフの皆様の将来的展望が図られるような形で、社員教育の一助になればという考えのもと、種々のセミナーを積極的に開催させていただいているところでございます。

さて、JATA 訪日事業としては、2022年度の事業計画としてウイズ・ポストコロナにおける訪日旅行の早期復活に向け、観光庁、JNTO、関係団体との連携強化のもと、

「安心・安全」「質の向上」「SDGs」

を3つの柱といたしております。

本日のセミナーにつきましても「質の向上に向けた地方誘客、SDGs」の一環として「アドベンチャーツーリズム」を取り上げさせていただく事と致しました。セミナーの次第としましては、前半はアドベンチャーツーリズムに関する講演を2つ予定しております。

冒頭は観光庁観光資源課 岩井専門官による「観光庁におけるアドベンチャーツーリズムの事業実績と今後への期待」、次に 日本アドベンチャーツーリズム協会 山下理事による「アドベンチャーツーリズムの基本的な考え方」です。

後半は「アドベンチャーツーリズム」に取り組む日本全国のトップランナー5名の方々に各地における先進事例紹介を行なっていただきます。

さて、今月3月1日より「入国者の待機期間等の見直し」、「留学、技能実習等観光目的以

外の外国人の新規入国」「入国者総数の引き上げ」という水際措置の緩和が実施され、国際交流復活の第1歩が踏み出されました。

また昨年12月に実施予定だった「観光を目的とした訪日実証実験」も時期は未定ながら実施予定とも聞いております。

さらに海外の「訪日意欲に関する調査」によると、世界各国からの訪日意欲は依然に高い数字となっており、条件さえ整えばまた多数の訪日観光客の方々が来日されるものと考えております。

本日のセミナーで、是非ご聴講の会員の皆様がなにがしかヒントをつかんでいただき、近い将来に来るべきウイズ・ポストコロナの訪日旅行の本格的な再開に備えていただければ幸いです。

本日はこれより17時半までの長丁場にはなりますが、宜しく願いいたします。以上を持ちまして、主催者挨拶とさせていただきます。

以上